



インスピレーションになる

- 《第2530地区活動目標》
1. 会員基盤の維持と強化
 2. POLIO撲滅への取り組みと支援
 3. TAKE ACTION
みんなで行動を起こしましょう
 4. RI 戦略計画と中核的価値観の理解と実践
 5. 公共イメージの向上
 6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
 7. 研修制度の充実
 8. ロータリー財団への理解と活用
 9. 米山記念奨学会への協力

WEEKLY REPORT OF IIZAKA ROTARY CLUB, DIST. 2530 広報委員会作成

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 平井 義 郎
 ガバナー補佐 渡 邊 武
 会 長 吾 妻 一 夫
 幹 事 村 上 裕 司

二月は平和と紛争予防
紛争解決仕月間

2018~2019年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 **ほのこころ** 吉川屋
 RI会長 パリー・ラシン 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604
 イーストナロー・ロータリークラブ(パハマ)

通 算

第30回 [2951] 例会報告

2月23日~3月1日世界理解と平和週間
平成31年(2019)2月21日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	26名
欠席会員	13名
出席率	66.67%

言行はこれに照らしてから 四つのテスト

1. 真実 か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなの 為に なるかどうか

◆開 会 点 鐘 吾妻一夫 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 服部裕一 会員

◆四つのテストの唱和 西山友幸 職業奉仕委員

◆お客様紹介 児童発達支援管理責任者 原 美子 様

【2月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます。♪♪♪
 2月21日 油井貴子様(明則会員)

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



先だっのロータリーの海外旅行では、ご参加された **ロータリーソング 4つのテスト** 皆さん、大変ご協力をいただきありがとうございました。ハプニングだらけではございましたが、無事帰って参りました。私も何度かバリ島に行っておりますが、今回は一番思い出に残る旅行でした。何かと忙しい日々を送っておりますが、お寺の会費集めや町内会の総会があり、自分の時間が取れないのが現状です。それにしても、今回の新会員オリエンテーションは私たちがホストですので、しっかりやっていかなくてはならないと思っております。それには皆さんのご協力が不可欠です。ぜひご参加をお願いいたします。また、クラブ内の新会員セミナーもあります。義務参加ですのでご対象の皆様、宜しく願いいたします。旅行から帰ってき次の日に全国果樹経営者コンクールがありまして、そこで『**農林水産局長賞**』をいただきました。そこで感動した事があったのでお話しいたします。震災後、ひどい生活を強いられ7年間過ごしてきましたが、たまたま、震災の時に静岡県のみかん農家の方が「大変でしょう。うちでできるのはみかんを送るくらいだから」とみかんをふんだんに送っていただき、こちらからはりんごを送り、その後も交流を重ねて参りました。たまたま、その方も今回同じ賞をいただいており、手紙のやり取りだけでお互い顔を知らなかったのですが、声を掛けて下さって、その時に胸にじんときてくるものがありました。人の情けと言うか、お互い顔も知らない同士が何年も交流して、ある時に同じ賞を貰ったという事に感動して帰って参りました。



◆幹事報告 村上裕司 幹事

A. 来 信

- ① 県北第一、第二分区ガバナー補佐 より
 「県北第一、第二分区合同新会員オリエンテーション開催の案内」
 と き、 3月9日(土) ところ、吉川屋
 セミナー 15:30~ 出席義務者 入会3年未満でまだ研修を受けていない新会員
 懇親会 17:30~

B. メーキャップ報告 2/16 地区行事 佐藤喜市郎 会員

【**紺野容樹会員より御礼**】 先日父の葬儀にあたりましては、お忙しい中、ご参列や多大なるご芳志をいただき、また、お手伝いいただきましてありがとうございました。

私の父も飯坂クラブに所属しており、十数年前に退会いたしましたが、その時も「退会したくなかった。ロータリーが非常に楽しかった」と申しており、晩年も「お前はいいな。本当は俺が入りたい」と言っておりました。非常にロータリークラブを愛しており、皆様にも大変お世話になりました。今回、皆様温かく仲間意識の強い会だとよく分かりました。

今後とも、父と同じくクラブの発展に寄与できるようにして参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げまして、感謝の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

◆スマイリングBOX 二瓶 貢 委員長 【合計3-50】

- | | |
|------------|---|
| 吾妻 一夫 会員 H | ・旅行大変お世話様でした。無事終了する事ができました。・原美子様をおむかえて |
| 紺野 容樹 会員 H | 父の葬儀の際にはありがとうございました。今後共、よろしく願い申し上げます。 |
| 中野 哲郎 会員 H | ①1月例会全体お詫び ②家内の1/26家族旅行キャンセルお詫び |
| 千葉 政行 会員 S | ・バリ島楽しく行ってきました。同伴者の皆さんご迷惑をおかけしました。・原美子様をおむかえて |
| 服部 裕一 会員 S | ゲストスピーチ児童発達支援管理責任者原美子様をお迎えて |
| 佐藤喜市郎 会員 S | 妻に誕生日のお花をいただいて |
| 小笠原尚史 会員 S | 妻に誕生日お花ありがとうございました。 |
| 佐藤 真也 会員 T | ゲストに原美子様をお迎えて 早退おわび |
| 島 隆章 会員 I | 早退おわび |

【ご寄付のご報告】
 平成31年2月21日
 紺野容樹会員よりご遺志金 20,000円



皆様、こんにちは。実は震災前に一度講演でお話しさせていただきました。その後、震災が起きましてちょうど8年目です。宜しくお願いいたします。前回お話しさせていただいた時は、大笹生支援学校の教頭で、お亡くなりになりましたハッピーケアの福田様が大笹生支援学校の教育活動後援会長をなさっていて、その方に「次はの方がいいよ」と推薦していただき、校長と共に千葉社長の所に行き、次の後援会長をお願いいたしました。私はラジオもやっておりますが、千葉社長にも出ていただき、大変お世話になっております。

「26年度四次隊」いう呼び方ですが、若いボランティアの青年海外協力隊と、40歳以上はシニアと呼ぶのですが、シニア海外ボランティア(SV)を3カ月に1回派遣していますが、1回に200名くらい行きます。わたしはこの四次隊として1月から訓練に入って、2カ月後には海外に行き、二年間活動してきました。エルサルバドルという国で障害児支援を行っていました。実は18年間体育教師でしたが、あ

るきっかけで福島養護学校に勤めることになり、そこでの子供たちとの出会いに魅了され、特別支援の免許を取って、20年間勤めさせていただいて、その間、バスケをやっていたので、知的障害のあるお子さんのクラブチームを立ち上げ、今は全日本の副会長をやっており世界選手権に出たりしております。パンフレットにあります。平成24年度に法令で決まった、いわゆる発達障害のあるお子さんたちを10人前後お預かりして5、6人で療育をします。

なぜシニアボランティアに参加したのか。退職後、障害者の施設で働いてくれというお声もあったのですが、両親も元気で、日本国内の支援だったらもう少し年を取ってからでもいいかなと思って、やはり、東日本大震災の時に170か国、しかも日本よりずっと貧しい国からも支援の手がいっぱいあり、しかもバスケをやっていたので関係者の方々からもたくさん支援をいただいて、本当に若い仲間が突然亡くなったりするのを目の当たりにして、もう少し年を取ったらやろうとか、お金があつたらやろうとかでは無く、今やろうと思った事をやろうというのが大事だなとすごく思って、そういうつながりも大事にしようと、私に何ができるのか考えた時に、シニアの海外ボランティアというのが急に浮上して合格しました。

どんな仕事をしていたのかと言うと、私は体育教師ですので、体育の授業やスポーツを通して自立を促します。これは障害があっても無くても、スポーツを通して順番や集団行動をするのと同じで学校で行います。行った学校がサンミゲル特別学校という所で校長、副校長、教員が全員女性です。男性がいません。午前午後合わせて200名くらいの児童数でした。そこで学んだ事は、片言は話せますが言葉が通じないでいたら、幼稚園児に「あなたはしゃべれないのね」と言われ、その時に障害で言葉が出ない子はこんな気持ちなのだとしてすごく体感できたのと、自閉症がある幼稚園の男の子が大好きとどんとくるのですが、力の加減が調整できなくて、むこうの人たちはそんなに強くやってはだめでしょと怒るのですが、私は長年そういう子供たちと接してきたのでやさしくだよと言うとだんだん力の調整ができるようになり、良い関係を作っていくと、周りの先生方も彼女の言う事を聞いてみようかとなりました。当時の先生方はスペイン語も話せない体の小さい日本人が来てあまり意識がなかったのか、自分の仕事をするまでに時間がかかりました。私は要請を受けていったのですが、まずは私を知ってもらって、では聞こうかという関係にならない以上、相手はアドバイスなんか聞きません。まずは、同僚と一緒にやって、仕事を任せてもいいなとか、意見を聞いてもいいなという関係を持ち、人となりを知ってもらってはじめて仕事が始まるということだったと思います。

子供たちを育てるには、大人側が安全な場所を確保するとか、子供に良い習慣を付けさせるとか、私たちが力を付けようとする子供がどれくらいできるのか、そういうアセスメントをしっかりとならないと計画は立てられません。最終的には自立をさせたいと思って具体的に活動しました。コスタリカの中米大会に行ったり、また、日本の文化を知ってもらおうと向こうに行っていた日本人のボランティアの方に手伝ってもらって、日本と言うとアニメと空手で、すごく喜んでいただきました。エルサルバドルでも大

きな地震があったのに、現地の方はもうこないと言うので、ボランティアで行っていた防災担当の方に来てもらって、地震の時はこういう風にやるのだと訓練をしました。そうしたら、2016年に本当に地震がきました。みんなちゃんと練習通りにできました。中米の方は時間を守りません。時間を守る事、運動着を着る事、「お願い」「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える事、視覚的な教材を使う事を同僚は私から学んだと言っていました。私が彼女達から学んだ事は、愛情表現が豊かでモチベーションが高く、コーディネート力がすごいところです。また、日本より本当に家族を大事にしています。2年間行ってすごく学んだ事は、振り返ってみると仕事優先だったなと思って、もっと家族を大事にするという気持ちを大っぴらにするという事と、今を楽しく過ごす事、私たちはどうしても先先を考えてしまうので、今を楽しむ事、また、自分の意見は堂々と言うという事、受け入れる事にすごく寛容な事を学びました。現地に行った事で日本の良さを改めて知りました。当たり前だと思っていた事は日本の教育のおかげなのだと思います。シニアボランティアに参加して考えた事は、行った所の生活を一緒にすることでそこに本当に必要と思われることは何なのか。しかもその人たちが自分たちで続けられる活動を考えるのが大事で、それから、ボランティアも障害者支援もそうですが、サポートしている人が目立ってはだめなのです。知らない間にその人が抜けても、その活動がちゃんと続いていける事が大事です。国が違う人間だから気が付く事もあって、これがまさに 草の根の国際理解 なのかなと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

◆ 閉 会 点 鐘 会長



飯坂小太鼓クラブに5万円

福島市の飯坂ロータリークラブ(RC)は21日、飯坂小祭り太鼓クラブに5万円を寄付した。昨年12月



のチャリティーオークションで会員から寄せられた善意を贈った。

同校で贈呈式が行われ、同RCの吾妻一夫会長、村上裕司監事、鈴木重忠社会奉仕委員長、寄付を仲介した佐藤喜市郎同委員が、同太鼓クラブの武山英太郎部長(6年)に手渡した=写真。石川逸子校長が同席した。

同太鼓クラブなど県内外の太鼓演奏団体が出演する飯坂温泉太鼓まつりは3月17日、同市のパルセいいざかで開かれる。